

# 平成25年度 国語科教育にかかわる現状と課題

部長 小林 文 雄

## 1 国語科教育の動向

### 【上越地区】

直江津南小学校の清水登紀子教諭は「風神雷神図」、糸魚川東小の谷内卓生教諭は「海の命」を題材に、思考力表現力を高める提案を行った。妙高市は中学校教員による古典の授業を参観しての協議、柏崎・刈羽は講師を招いて思考力の育成の研究に取り組んだ。

### 【中越地区】

奴奈川小学校の佐藤勝吉教諭は「パネルディスカッションをしよう」、倉俣小学校の小堺香織教諭は「できごとをおもいうかべよう」、燕東小学校の八幡聡子教諭は「あつまれ、ふゆのことば」、三条小学校の六田将司教諭は「伝えよう！三条自慢の和釘」の授業を公開し、言語活動の充実にかかわる提案を行った。長岡・三島、小千谷市、見附市、加茂・南蒲、魚沼市、南魚沼郡市は言語活動の充実や表現力を高めるための研修会を全体で行い、指導力の向上を図った。

### 【下越地区】

三川小学校の河村崇教諭は「百年後のふるさとを守る」、水原小学校の永井加代子教諭は「食べ物のひみつ教えます」、松本朋浩教諭は「新潟県紹介ブックを作ろう」、愛宕小学校の中山亜希子教諭は「くじらぐも」、蓮野小学校の後藤美代子教諭は「じどう車くらべ」、加茂小学校の三本瞳教諭は「みいつけた」を教材に、言語活動の充実を視点に指導力向上に資する提案を行った。村上市では単元を貫く言語活動のあり方について講師のもとに研修し、胎内市では中学校との連携が提案された。

### 【新潟市】

五十嵐小学校の佐藤まゆみ教諭は「おとうとねずみチロ」、上所小学校の山本敦子教諭は「ニャーゴ」、桃山小学校の坂下祐教諭は「もうどう犬の訓練」、新津第一小学校の松島慎一郎教諭は「くらしの中の和と洋」、庄瀬小学校の小林邦恵教諭は「世界一美しいぼくの村」、大形小学校の大野友紀教諭は「森林のおくりもの」の授業を公開し、単元を貫く言語活動を設定し、児童に読む力が身に付いたかどうか考察を行った。

## 2 国語科教育の課題

言語活動の充実を担う基幹教科としての自負と自覚の高まりから、各郡市で鋭角的な研究が展開されている。今後も次の二点に心がけ、指導力の向上を図る必要がある。

- ① 言語活動についての理解を全体で一層深めるために、指導案検討から共同で行うなど、会員の参加態勢を整えること。
- ② 子どもの学びの連続性を保障する、指導方法についての小中連携を進めること。